

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『 移植腎における虚脱性巣状分節性糸球体硬化症 (collapsing FSGS)の臨床病理学的検討 』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 腎センター 科

職位・氏名: 講師・小口英世

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院 腎センター 科では、移植後の腎生検でわかる巣状糸球体硬化症 (FSGS)のうち、collapsing FSGS という病変の成因を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、collapsing FSGS 病変を回避し移植腎機能保持につながる可能性 につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2017年1月～2022年12月までに東邦大学医療センター大森病院

腎センター 科において、移植腎生検をうけられた腎移植後の方

方法: 上記の期間に移植腎生検をうけられた方の移植腎標本の解析や診療情報(ドナーさんの情報を含む)を診療録から抽出して解析 をします。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 移植腎生検検体、血液・尿検査など

情報: 年齢、性別、治療内容、感染症など

(ドナーさんの情報も調査します。過去に腎生検をうけられている方は最大1982年1月まで最大遡って調査します)

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 腎センター 科

職位・氏名 講師・小口英世

電話 03-3762-4151 内線 6757